

相談窓口

一人で悩まずに気軽に相談してください。
相談員はあなたの立場に立って相談に応じます。

▶対象となる方

- 当館で働き、学ぶすべての人々に適用されます。
- 当館で働き学ぶ人と、それ以外の人との間でハラスメントが生じた場合にも、みんなくのシステムを運用して対応します。

▶こんな場合も対象に

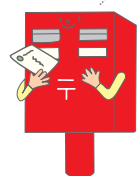
- 研究・教育・勤務の場や時間以外での出来事、フィールドワークなど館外活動中の出来事など
- 周囲でハラスメントを見かけた第三者からの相談
- 過去の被害（ただし事実確認が難しくなりますので、できるだけ早く相談してください。）

▶相談窓口・相談方法

- 相談員の氏名・連絡先は、別紙やウェブサイト（<https://staff.minpaku.ac.jp/member/harassment>）のとおりです。
- 相談窓口では、館内の相談員だけでなく外部の相談員に相談することもできます。
- 相談は、面談だけでなく、手紙、電話、メールでも受け付けます。付き添いや代理をしてもらっても構いません。匿名でも相談できます。（ただしメールの場合には、必ず件名に「ハラスメント相談」と記入してください。詳しくは上記ウェブサイトをご覧ください。）

相談員は、あなたや関係者のプライバシーを厳守します。
相談したことで、あなたや関係者が不利益を受けることはありません。第三者からの相談も同様です。

お気軽に
ご相談下さい。

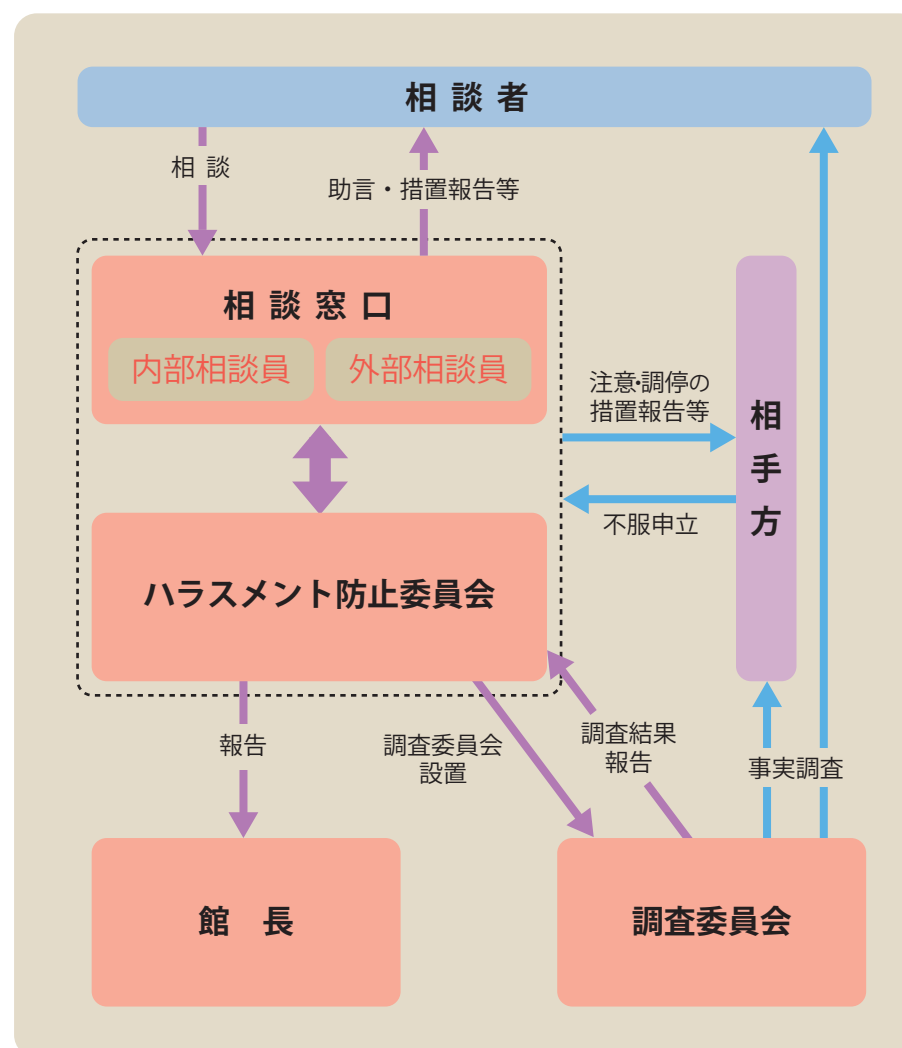


相談の流れ

相談後の流れには、さまざまな場合・対応があります。

- 相談員との**相談や助言**の後、しばらく様子を見守る。
- 相談員やハラスメント防止委員会が、**相手に注意・警告**を行う。
- 相談者と相手の双方から話を聞き、**当事者間の話し合い（調停）**を図る。
- 調査委員会を設置して調査し、何らかの**救済措置や加害者の処分**を求める等。

いずれの場合も、相談員とハラスメント防止委員会は、相談者の意思を第一に尊重し、相談者にとって一番良い方法を一緒に考えます。



- ハラスメントの加害者に対しては、規則などにしたがって処分を行うことがあります。
- いかなる場合・段階においても、相談者および関係者のプライバシーを厳守し、不利益が及ばないように万全の対策を講じます。以上の対策にかんする詳しい内容は、ウェブサイト（<https://staff.minpaku.ac.jp/member/harassment>）もご覧ください。

みんなくはハラスメント防止に取り組んでいます。
快適な研究・教育・就労環境をみんなの力でつくりましょう。

ハラスメントのない みんなくを目指して



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

➡ ハラスメントの具体例

【セクシュアル・ハラスメント】

「相手の意に反する」「相手の望まない」性的な言動のこと

- 性的な内容の情報を意図的かつ継続的に公然と発言したり、流布したりする。
- 性的な内容の電話やe-mail等を送りつける。
- 地位を利用して、出張への同行や自宅までの送迎等を強要する。
- 女性という理由で業務や研究上の実績を不当に低く評価する。
- 「女はいいよな、結婚があるんだから」「女は研究者には向かない」「しょせん女には無理な仕事だ」「うちの子を使いに出します」「男のくせに」などと発言する。

【パワーハラスメント】

同じ職場で働く者に対して、(1) 優越的な関係を背景に(2) 業務上必要かつ相当な範囲を超えた言動により(3) 就業環境を害する行為のこと

- 身体的な攻撃：暴行・傷害
- 精神的な攻撃：脅迫・名誉毀損・侮辱・ひどい暴言
- 人間関係からの切り離し：隔離・仲間外し・無視
- 過大な要求：業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制、仕事の妨害
- 過小な要求：業務上の合理性なく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないこと
- 個の侵害：私的なことに過度に立ち入ること

【アカデミックハラスメント】

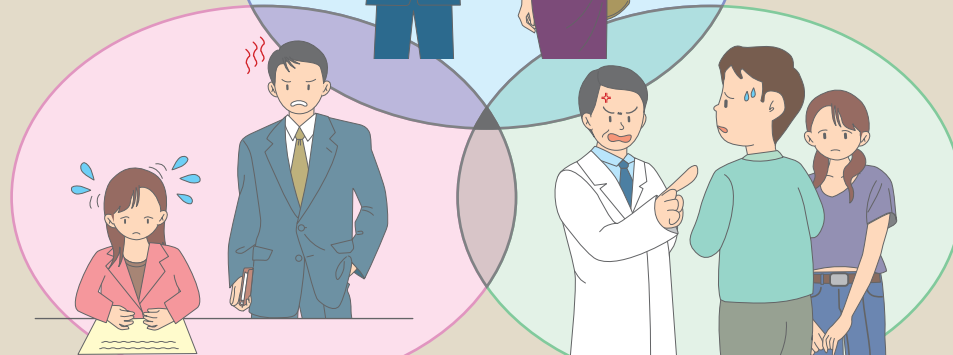
教育研究の場で、地位や人間関係などの優位性を利用し行われる理不尽な行為のこと

- 研究教育や業務と関係ない雑務を強要され、私的な用事で何度も呼び出される。
- 教育観点や本来の業務の範疇を超え、こなしきれない課題やノルマを与える。
- 研究活動を不当に制限する。
- 研究教育や業務に関して著しく不公平・不公正な評価をする。
- 教育的な指導を理由なく拒否し、放置する。
- 「こんなことじゃどこにも就職できないぞ」「バカじゃないのかお前」「だからお前はダメなんだ」などと発言し、人格や自尊心を傷つける。

ハラスメント

ハラスメントとは、相手に不快感や脅威を感じさせる不適切な言動です。

セクシュアル・ハラスメント



パワー・ハラスメント

アカデミック・ハラスメント

- 実際のハラスメントは、これらが複合して起こっています。
- ハラスメントは、男性から女性、上位者から下位者だけでなく、女性から男性、同性同士、下位者から上位者、同僚や同級生の間でも起こります。

➡ 加害者にならないために

自分ではそのつもりがなくとも受け手が不快に感じれば、ハラスメントになります。ハラスメントは、明らかな人権侵害です。

**受け止め方には個人差があります！
自分勝手な思い込みは厳禁です！**

ハラスメントは、しばしば上下関係や力関係の中で生じます。このため「弱い立場」の人は、拒否の意思表示がはっきりできないことがあります。教員、上司、先輩など、相手より「優位な立場」にある場合は、とくに配慮と自覚が必要です。

**相手の立場に立って考えましょう！
ノリで悪ふざけしていませんか？
嫌がることを繰り返していませんか？
相手を性的な対象としてのみ見ていませんか？**

➡ ハラスメントを受けたと感じたら

自分を責める必要はありません！

あなたは決して悪くありません。悪いのはあなたを傷つけた加害者です。

一人で悩まないで相談しましょう！

嫌だという気持ちを相手にはっきり伝えるという方法もあります。しかし、それができない場合も多いでしょう。一人で悩まずに、友人や信頼できる人に話して相談することも大切です。みんぱくの相談窓口で相談することもお勧めします。あなたのプライバシーは厳守します。

なるべく記録を残しておきましょう！

「いつ・どこで・誰から・どのようなことをされたのか、あなたはどうか感じたか」などを記録しておいてください。相談のときの資料になります。その場にいた人がいれば、その人にも確認しておきましょう。

➡ 周りにいるあなたにできること

周りのあなたの態度や意識が、ハラスメントの防止につながります。ハラスメントを、当事者間の個人的な問題として片付けないでください。

周りで見かけたら、見過ごさないで！

できれば勇気を出して注意してください。できない場合でも、放っておかず誰かに相談してください。みんぱくの相談窓口では、周囲で見かけた第三者からの相談も受け付けます。

積極的に被害者のサポートを！

被害者の相談にのったり、相談窓口に行くようすすめ、同行してあげましょう。必要なら証人になってあげましょう。

被害を打ち明けられたら、被害者の立場になって支えてください！

被害者も軽率だったと非難したり、被害者の同意なしに先走った行動をとらないでください。あなたの言動で、被害者がまた傷ついてしまうこともあります。